

【令和3年度 市・県民税申告書の記載例】 年金収入のみの方の場合

公的年金収入

※ 年金収入額の合計を51へ記入

区分	支払金額	源泉徴収額
国民年金(第1号被保険者)	1,465,830	10,292
国民年金(第2号被保険者)	0	0
国民年金(第3号被保険者)	0	0
国民年金(第4号被保険者)	0	0

区分	支払金額	源泉徴収額
所得税法第203条の3第1号・第4号適用分	1,400,000	0
所得税法第203条の3第2号・第5号適用分		
所得税法第203条の3第3号・第6号適用分		
所得税法第203条の3第7号適用分		

合計

現住所	明石市中崎〇丁目〇番 〇〇ハイツ〇〇	フリガナ	アカシ タロウ
氏名	明石 太郎	生年月日	明・大(昭)平・令 21年 1月 1日生
個人番号	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	電話番号	918-5013
職業	無職	世帯主氏名	明石 太郎

所得	収入金額	必要経費	専従者控除	所得金額(A-B-C)
営業等				78
農業				79
不動産				81
利子・配当				82 83
給与	50			
公的年金等	2,865,830			イ
業務・その他				86
総合譲渡・一時				90
合計				78+79+81+82+83+イ+86+90

控除	金額	所得金額
配偶者控除		
扶養控除		
雑損控除		
医療費控除	240,000	101,709
社会保険料控除	276,200	324,274
生命保険料控除	57,828	
地震保険料控除	16,204	
本人該当控除		
基礎控除		
合計		

社会保険料控除

※ 支払った社会保険料の合計額を152へ記入

区分	国民健康保険料	介護保険料
平成31年度以前分	95,700円	
令和2年度分	180,500円	
合計	276,200円	

区分	介護保険料納付額
令和2年中に納付された介護保険料	48,074円

生命保険料控除

※支払った生命保険料の金額を適用制度ごとに157・158・156・161・162へ記入

適用制度	金額
一般生命保険料	38,552
配当金(相当額)	0
合計	38,552

地震保険料控除

※支払った地震保険料の金額を164へ記入(旧長期損害保険の場合は165へ記入)

区分	地震保険料
地震保険料	16,204円

医療費控除

※医療費控除の明細書を添付し、支払った医療費・補てんされる金額の欄へ記入
 ※支払った医療費から、補てんされる金額と、所得の5%あるいは10万円のいずれか少ない方の金額を差し引いて149へ記入
 ※本例の場合、所得を換算すると1,765,830円となるため、その5%は88,291円。支払った医療費240,000円から、補てんされる金額50,000円と、10万円より少ないため所得の5%の88,291円を、差し引いて149は101,709円となります。
 (セルフメディケーション税制の場合は、計算方法が異なりますので、受付時に確認して記入していただきます)

障害者控除

※本人該当控除欄の障害者に○をつけ、手帳の種類・等級を記入
 ※扶養者が障害者の場合は、扶養控除欄の横の障害者の欄へ記入

③ 寄附金税額控除	有
④ 所得が多くなる見込み	
⑤ 給与・公的年金等に係る所得以外(令和3年4月1日において65歳未満の方は給与所得以外)の市県民税の納付方法	給与から差し引き 特別徴収